



北海道大学 サステナビリティ・ウィーク2014

第5回 ESD国際シンポジウム 次世代のESD戦略

2014年10月25日(土) 13:00-18:30 (開場12:30)

会場:北海道大学 学術交流会館

参加費:無料 参加登録:下記申込先にて10月24日(金)まで受付

世界の課題解決に取り組む北海道大学は、国連の「持続可能な開発のための教育の10年(DESDE)」に呼応して2005年から、持続可能性について考え、行動するための教育(ESD)をカリキュラムの中に取り込んできました。中でも、教育学研究科は、日中韓タイの大学と協働で「ESDキャンパス・アジア」プログラムを展開してきました。

国連DESDEが最終年を迎えるにあたり、5回目となる「ESD国際シンポジウム」を拡大して開催します。

大学生／大学院生、研究者、高等学校や市民団体の関係者が集まり、高等教育、高校教育、市民教育の連携による北海道とアジアの次世代ESDについて議論します。

講演者紹介

基調講演

ESD10年の総括



マリオ タブカノン
Mario T. Tabucanon

国際連合大学高等研究所
客員教授

主題講演1

ESDの将来展望



韓 龍震
Yong Jing Hahn

高麗大校
師範大学長

主題講演2

ESDの再構築



河口 明人
Akito Kawaguchi

北海道大学教育学研究科
教授

参加登録は電話もしくはウェブサイトにて受け付けています。

【電話】教育学研究科:TEL 011-706-3965 / サステナビリティ・ウィーク事務局:TEL 011-706-8031

【ウェブサイト】<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2014/esd>

プログラム

13:00～ 全体会（言語:日英同時通訳）

開催挨拶／趣旨説明

上田一郎（北海道大学 副学長理事／SW2014実行委員長）

小内透（北海道大学 教育学研究院長）

基調講演「ESD10年の総括」

マリオ タブカノン（国際連合大学高等研究所 客員教授）

主題講演1「ESDの将来展望」

韓 龍震（高麗大学校師範大学長）

主題講演2「ESDの再構築」

河口 明人（北海道大学教育学研究院 教授）

16:00～ 分科会

これまでのESDの経験をもとに課題を抽出し、今後の在り方について様々な角度から議論します。

①ESD Campus Asiaの成果と展望（言語:英語）

参加大学 高麗大学校（韓国）、ソウル国立大学（韓国）、チュラロンコン大学（タイ）、
北京師範大学（中国）、北海道大学

②北海道UNESCOスクール・コロキウム（言語:日本語）

参加機関 北海道教育大学釧路校ESD推進センター、羅臼教育委員会、道内ユネスコスクール、
北海道大学

③ESD学生フォーラム（言語:日本語、英語、同時通訳）

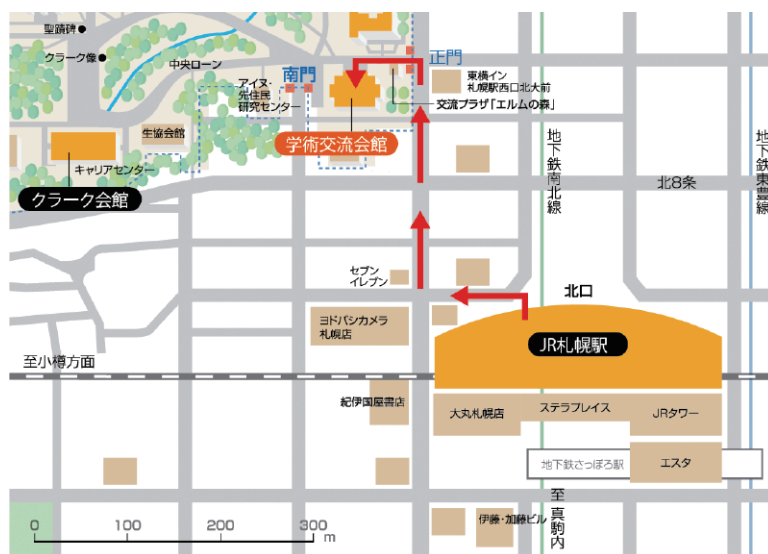
参加大学院 教育学研究科、サステナビリティ学教育研究センター（CENSUS）

④大学と地域社会が協力するESD（言語:日本語）

共催 環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）

18:00～18:30 総合討論

会場案内図



参加登録は電話もしくはウェブサイトにて受け付けています。

【電話】教育学研究院:TEL 011-706-3965 / サステナビリティ・ウィーク事務局:TEL 011-706-8031

【ウェブサイト】<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2014/esd>